

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	02	02	0402	ワンストップサービス推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
ワンストップサービスの推進

《事業開始の背景》
所得税と市県民税について、それぞれ税務署と市役所を会場に申告を受けていたが、各会場が手狭なうえ駐車場が混雑するなどの問題があり、問題解消のため広いスペースのあるまなび学園を会場とし、市・県・国の三税協力のもとで申告会場を合同にすることで市民の利便が向上すると考え、開始した。

《事業概要》

- ・合同申告会場の設営、周知、案内（看板、表示、案内図等）
- ・同一会場での市県民税等の申告相談を実施

市民参画の有無 [無]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
行政経営	財務部	市民税課	畠山 英俊	234

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	1,111				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,111			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

合同申告会場設置事業

市役所と税務署が同一会場の申告会場を設置

13節 申告会場配線業務委託 227,850円 申告会場内線電話機設置業務委託 105,000円	14節 申告用パソコン等借り上げ料 17台 716,100円	12節 申告用パソコン設定作業 17台 62,475円
--	---	--------------------------------------

※チラシ配布や広報誌掲載、ホームページ掲載により市民への周知を徹底。
※会場レイアウトの見直し。
※案内表示の充実と工夫。

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	02	02	0402	ワンストップサービス推進事業

総合計画	政策 5	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策 6-1	便利で質の高い市民サービスの提供
目的	ワンストップサービスの推進			
対象	申告が必要な市民			
意図	・税務署、市役所の申告会場が同一会場となることで市民の利便性が向上する。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- ・合同申告会場の設営、周知、案内（看板、表示、案内図等）
- ・同一会場での市県民税等の申告相談を実施

市民参画の有無 [無]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

会場の準備から撤収まで一か月半にわたり、まなび学園の3階ホールと学習室を使用するため、定期的に利用している団体の活動の場を奪う又は縮小することに繋がるので、そういった団体からまなび学園を使用しないしてほしいという要望がある。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	申告業務は、花巻税務署との連携業務であり、妥当である。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	同一会場のため、税務署に足を運ぶ手間がなくなり、混乱も少ない。申告会場として「まなび学園」がだいぶ浸透してきているが、さらに周知を継続することで未申告者の減少が期待される。また、会場レイアウト等の改善による待ち時間短縮等の余地があると思われる。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	申告会場のお知らせは、広報やホームページ等を活用し、必要最低限の経費となっており、さらにまなび学園の会場使用料は全額免除で削減の余地がない。会場設営の電話・オンライン配線、パソコンは、必要不可欠である。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	対象者は確定申告・住民税申告をする人に限定されるが、適正な申告と課税により市民全体が恩恵を受けることから、不公平は生じない。

《総合評価》…上記評価結果の総括

今回は、会場の床に動線の案内矢印表示をすることで、市民が会場でどちらに行けばいいかわからないような工夫を図った。結果、税務署会場・市役所会場とも大きな混乱はなかった。また、市民の待ち時間短縮を図るため、待ち時間の合間に資料整理をするコーナーを設けた。これにより、資料整理済み状態で申告相談を受けることになり申告相談自体の短縮が図れ、結果として待ち時間の短縮も図れた。一方、市民税課職員と応援対応可能な職員の減少により、申告相談従事職員数が少ないため混雑する日もあり、課横断の応援体制構築が今後の大きな課題となる。